べつかい
柏の実会

28日に基本設計入札

特養とデイサービス改築

【根室】社会福祉法人べつかい柏の実会（別海町別海97の9、佐野豊理事長）は、特別養護老人ホーム清翠園と別海デイサービスセンターの改築に関わる基本設計を数社の設計事務所に指名した。28日午前10時から法人事務所で入札する。新たな施設は約6000平方㍍を想定し、総事業費20億円を見込む。2014年度に着工、15年3月の完成を目指す。

1974年に別海町が建設した清翠園（別海町別海西本町52）は、78年に増築され、現在の規模はRC造、平屋、延べ2206平方㍍。定員はショートステイ8人を含む94人。清翠園増築時に建設された別海デイサービスセンターはRC造、平屋、延べ530平方㍍。定員30人で運営している。

9月、両施設の経営譲渡に関する基本合意協定を町と締結。14年4月1日付で既存建物を無償で引き受ける。新施設は、現在改築中の町立別海病院隣接地に建設し、敷地は無償で借り受ける。

現段階の計画では、新施設は特養とデイサービスの合築とし、定員は特養が現在より4人多い90人、ショートステイが2人多い10人、デイサービスは30人とする。特養は完全個室で1ユニット10人を9ユニット配置。事務室や大浴場、理美容室、多目的ホールなどを設ける計画だ。

12年度に基本設計をまとめ、13年度は実施設計を委託し、道への補助申請などを進める。14年度

日本グランデ

奥村組に決める

分譲MS 札幌山鼻ロワイヤル新築

日本グランデ（札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長）は、分譲マンションのグランファーレ札幌山鼻ロワイヤル新築を主体、設備一括して奥村組に決めた。今月末の着工を予定し、24日には地鎮祭を行う。

RC造、地下1地上11階、延べ4485平方㍍の規模。3LDK30戸、4LDK10戸の計40戸を設ける。

災害時や停電時にも対応できるよう太陽光発電リチウム蓄電池システムを採用するほか、防災倉庫や電気自動車の充電スタンド・コンセント、ガス、水道の使用量を確認できるエネルック機能ナビなどを備える。駐車場は42台分を用意する。

建設地は札幌市中央区南16条西9丁目701の8。札幌市電の静修学園前停留場などが近い閑静な住宅街に立地する。設計は自社。完成は2013年11月ごろの予定だ。

八雲町

12年度は7

移住促進団地

【函館】八雲町は、移住促進向け住宅団地「スロータウン花浦」の無償土地分譲で、2012年度募集分として7区画の分譲希望を13年2月28日まで受け付けている。

町外からの定住促進を図る目的で整備されたス

道内新エネルギー賦存量

太陽光は十勝が最多

総合振興局・振興局別の新エネルギー賦存量

	太陽光	風力		中小水力	バイオマス
	平均日射量（kWh/㎡）	発電量（MWh）	年間平均風速（m/s）	発電量（GWh）	熱量（GJ）
空知	3.61	61,281	3.03	590	8,199,486
石狩	3.72	64,081	3.67	355	4,844,132
後志	3.44	51,851	3.66	619	2,748,195
胆振	3.78	42,418	2.93	244	4,428,211
日高	3.77	65,572	3.06	1,784	1,680,719
渡島	3.57	60,225	3.57	365	3,261,208
桧山	3.35	47,880	4.14	273	1,714,190
上川	3.52	113,430	2.18	1,712	9,955,809
留萌	3.45	64,847	3.67	48	1,780,493
宗谷	3.51	113,714	3.85	4	3,475,064
オホーツク	3.85	159,576	2.34	200	13,485,787
十勝	4.07	75,379	1.93	2,198	13,261,596
釧路	3.97	82,027	2.95	182	7,316,164
根室	3.85	70,357	2.76	32	2,951,132

道内の新エネルギー賦存量が、道のまとめで明らかになった。総合振興局・振興局別に見ると、太陽光発電は十勝の4・07キロワット時毎平方㍍（平均日射量）が最多。風力発電では、発電量はオホーツクの15万9576メガワット時、年間平均風速は桧山の4・14㍍毎秒が最大の値となった。中でも、十勝は太陽光、中小水力、バイオマスという全ての数値が大きく、ポテンシャルが高い地域であることが分かる。市町村別の賦存量は、太陽光では浦幌町の4・41キロワット時毎平方㍍、風力ではえりも町の8・2㍍毎秒がそれぞ

風力の賦存量
（単位・m/s）

順位	市町村	風速
1	えりも町	8.2
2	上ノ国町	6.9
3	島牧村	6.8
4	乙部町	6.5
4	利尻富士町	6.5
6	奥尻町	6.4
7	岩内町	6.1
8	知内町	6.0
9	福島町	5.7
9	苫前町	5.7

太陽光の賦存量
（単位・kWh/㎡）

順位	市町村	日射量
1	浦幌町	4.41
2	池田町	4.31
3	幕別町	4.29
4	帯広市	4.25
5	中札内村	4.23
6	更別村	4.22
7	広尾町	4.17
8	本別町	4.16
9	芽室町	4.14
10	豊頃町	4.13
10	釧路市	4.13

革推進会議の「再生可能エネルギー資源等の賦存量等の調査についての統一的なガイドライン」に基づき、道が作成した新エネルギー賦存量推計ソフトを用いて算出した。

総合振興局・振興局別の特徴では、空知は中小水力、木質系バイオマス、石狩は平均風速、胆振と日高は年平均日射量が大きく、後志は中小水力で、渡島は平均風速や中小水力の値が高く、桧山の年間平均風速は道内トップ。上川は中小水力とバイオマス、留萌と宗谷は風力発電に適しており、オホーツク、十勝、釧路、根室は太陽光とバイオマスの賦存量が大きい。

市町村別の賦存量は、太陽光発電ではトップテンのうち、釧路市を除いた全てを十勝管内が占め

総合振興局・振興局別の推計